

林道事業（県事業）審議資料

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1

- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
公共林道事業（道整備交付金） . . . p 2

- 平成 26 年度 再評価実施箇所（附図）
公共林道事業【三倉～上ヶ流線】 . . . p 3

- パワーポイント説明資料
公共林道事業【三倉～上ヶ流線】 . . . p 4～p 9

平成26年度 再評価対象箇所一覧表 8月8日審議箇所
 [林政部 森林整備課]

番号	事業名	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要		全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H26.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の 進捗状況	社会経済構勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費削減	費用対効果 効果分析	対応方針 (案)	特記事項	
						全体事業量	実施済事業量	事業 実施率	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等										
																							L=13,000m
2	公共林道事業	三倉～上ヶ流	揖斐川町	H6	H33					4,350	2,414		20	岐阜県森林づくり基本計画	-		木製構造物の採用、リサイクル認定製品の採用	一部幅員を縮小	投資効果 (1.5) 1.1	継続			

費用対効果分析：()は前回再評価時の投資効果率

平成26年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 ・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設
○費用対効果の分析について	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・うち貨幣換算する項目（B） ・水源涵養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
	その他項目	
費用便益B/C	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C）≥1.0

平成26年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番 号	2	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 林道 三倉～上ヶ流線		
事業実施箇所	起点：揖斐郡揖斐川町三倉 終点：揖斐郡揖斐川町春日六合	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成6年度	完了予定年度	平成33年度		
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>利用区域森林内(面積1,111ha)の路網の骨格となる幹線林道を整備することにより、効率的な林業経営と適切な森林整備に資する。</p>				
事業概要	<p>林道開設 幅員 W=4.0~5.0m 全体計画延長 13,000m 全体事業費 4,350,000千円 利用区域森林面積 1,111ha 同蓄積 231,892m³</p>				
概要図	 <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <p>全体計画延長 13,000m</p> <p>実施済延長 5,174m</p> <p>残計画延長 7,826m</p> </div>				

公共林道事業 三倉～上ヶ流線の再評価



林政部 森林整備課

県の政策における位置付け

◇岐阜県森林づくり基本計画

第1期(平成19年度～平成23年度)

第2期(平成24年度～平成28年度)

◎ 健全で豊かな森林づくりの推進

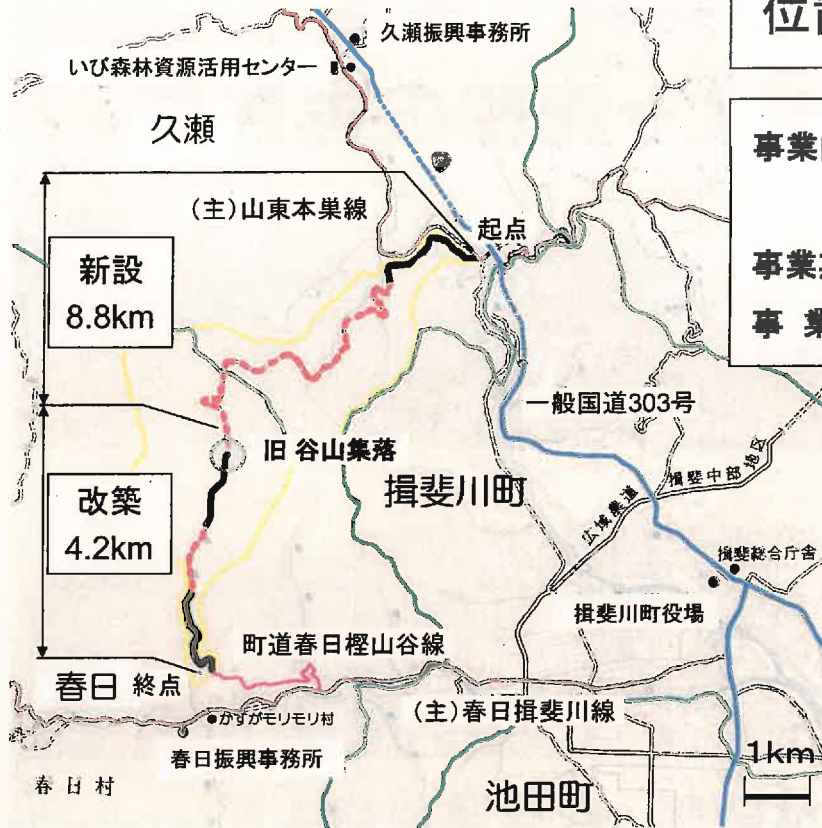
・ 間伐の推進

◎ 林業及び木材産業の振興

・ 効率的な施業体制の確立

林道整備を推進

位置図及び事業概要



事業内容：幅員 4m～5m

延長 13km

事業期間：平成6～33年度

事業費：4,350百万円

凡例

- 利用区域
- 完了区間
- - - 計画区間

事業の目的

○人工林（林齢）

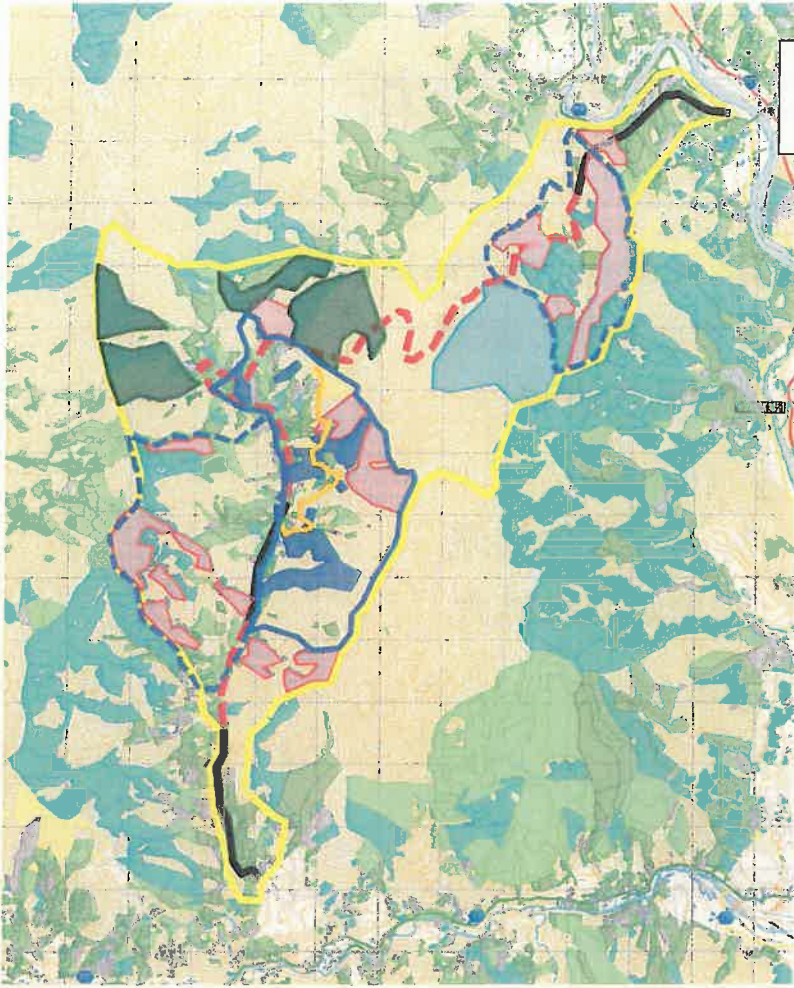
- ～ 15年
- 16～35
- 36～45
- 46～60
- 61～
- 官行造林地

○林道

- 完了区間
- - - 計画区間

利用区域 1,111ha

- ・ 森林整備の推進
- ・ 林業経営の効率化



間伐の実績・計画

○間伐実績(H11～H25)
 実施面積 321ha

○森林経営計画(H25～H29)
 計画区域
 間伐計画 30ha
 作業道

○森林経営計画(予定)

○機関造林地
 森林総研造成地

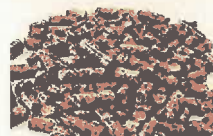
搬出した木材の利用



小径木加工



チップ製造



ペレット製造

費用対効果分析

□ 事業の効果

○ 森林整備経費縮減等便益（87%）

- ・ 森林整備に要する経費の縮減
- ・ 森林の公益的機能の発揮

○ 木材生産等便益（11%）

- ・ 木材の搬出・輸送経費の縮減
- ・ 木材の搬出・利用区域の拡大

○ その他の便益（2%）

□ 投資的効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.1$$

前回評価時
(H21年度)
1.5

事業を巡る社会経済情勢等の変化

□ 「森林・林業再生プラン」の策定(平成21年12月)

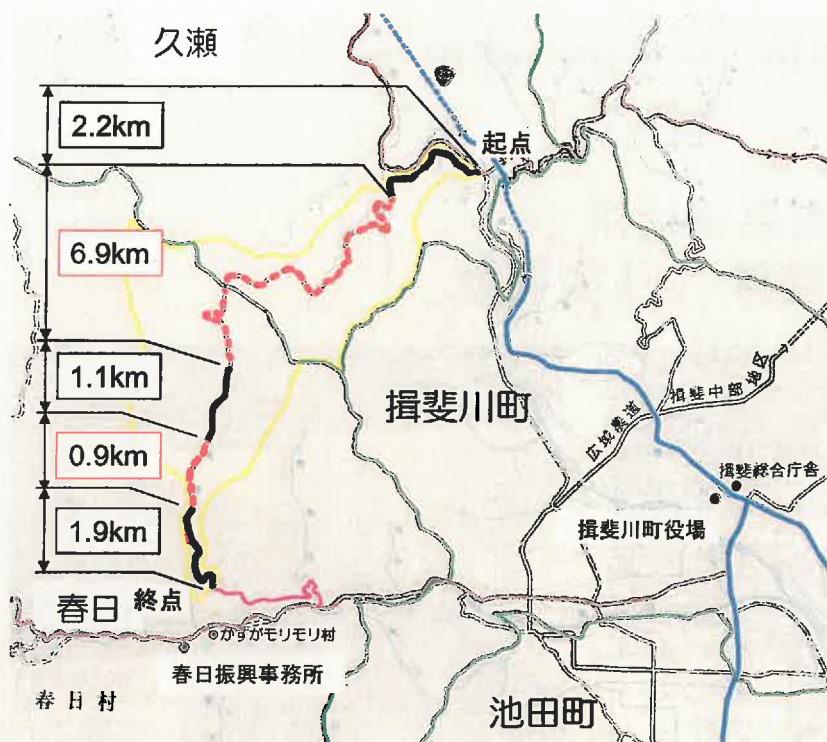
「森林経営計画」制度の開始(平成24年4月)

□ 「森の合板工場」(平成23年)の稼働

「木質バイオマス発電施設」、「大型製材工場」が
稼働予定(平成27年)

□ 「いび森林資源活用センター」の設立(平成21年12月)

事業の進捗状況



全体計画延長	13.0 km
実施済延長	5.2 km
進捗率	40 %
残計画延長	7.8 km

コスト縮減の取り組み



- 幅員の見直し
5m → 4m
- プレキャスト
L型擁壁の活用等



縮減額 882百万円



環境への配慮

□ 間伐材を利用した工法の採用

・木伏工 ・木柵工

□ リサイクル製品の活用

・緑化基盤材 ・L型擁壁



対応方針(案)

- 間伐等の森林整備を進め、木材の搬出・利用を推進する必要がある。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。
 - ・ 久瀬地区と春日地区を結ぶ重要な道路である
 - ・ 地域産業の振興に寄与する



継続して事業を実施することが妥当